

# 事務所をもつことも大きな挑戦

横田能洋の

## NPOの台所

連載

2

コモンズも法人となつて3年目ですが、会員は約3倍になり、事業規模は任意団体当時と比べて20倍になりました。1年半前に、コモンズは2000万円くらいの仕事を覚えていると言われたことを覚えています。いつになったら仕事に見合う収入が入るようになるかな、と思つてましたが、今、なんとかその規模になりました。明確な目的をもって道を切り開けば、お金はついてくるものと実感します。さて、何回かにわけてコモンズのこれまでを振り返ります。

ときに、西暦1998年(なつかしいフレーズ、え?)設立総会を前にした茨城NPO研究会(コモンズの前身)の例会では、法人として事務所を置くかどうかで議論が白熱していました。「収入の見込みが立たない中で事務所を借りたら、固定費が膨らみ危険」「最初からあまりお金をかけないで、例会の時にどこか会場をかりながらやれば」とつよつよな慎重論が多

くでていました。けれど、「サポートセンターの事業をするのに、個人宅では人が集まって仕事や会議がしにくいし資料も共有できない」「人がふらつと来られる場所をつくりたいので、どうしても事務所がほしい」と自分も含め何人かがこだわり、お金はなんとかして事務所をもつことにきまりました。

設立総会から最初の2ヶ月間は事務所探しでした。家賃が安く借りられて駐車場があつてできれば駅にも近くて、という物件を探しましたが、全然見つかりません。幸い会員の紹介で駐車場があつて15坪の事務所をかなり値引いて貸してくれる話が、それでも6万円を超える家賃。まして、敷金など払つたらお金がなくなる。さあ、どうしようかと迷いましたが、事業するには絶対必要、どこまで続くかやってみようと決断し、契約書に判を押したのです。

(つづく)



横田能洋(よこた よしひろ)  
1967年千葉県生(33歳)  
茨城NPOセンター・コモンズ常務理事  
兼事務局長

